

4月の東京都江東区長選を巡る公職選舉法違反事件で東京地検特捜部が、自民党衆院議員の柿沢末途前法務副大臣の疑惑について捜査を続けています。柿沢氏は選法上有利インターネット広告掲載を行ったことが発覚し、副大臣に勤めたことが発覚し、副大臣を辞任しました。同氏は複数の区議会現金を配布しており、貰取の疑惑が挙がっています。選舉運動貰取の貰取疑惑も浮上しました。議員辞職に備える大問題ですが、柿沢氏は公の場で一切説明していません。真相解明に動かない岸田文雄政権の責任も問われます。

前法務副大臣疑惑

主張

「選挙と力ネ」徹底的に解明を

述しているといいます。

柿沼田側が現金提供を持ちかたたのは2月廻しられており、4月の区議選での舞田貳舞にしては早すぎて不自然との指摘もあります。現金が区議選での票の取りまとめを依頼する趣意だったとすれば、公選法違反(買収)に問われ

幹にかかる問題で力不足であつた
る事件が後を絶たないので、田畠
親の体調も續ひつづいています。
柿沢氏側が木村氏陣営スタッフ
ら10人以上に計約6万円の報酬を
支払ったといわれています。この件
についても特捜部は、公選法が實
際に何が違法なのか知らないからだ
とうのは、政治家としての資格
にかかわります。回収を法務行政
執行機関として兼ねる選舉運営員へ

正した」「事務的ミスだ」と新語化しますが、24日公表の22年の監査報告書でも未記載の派閥があることなどが判明し、農林省は政治資金の収支を隠匿した疑惑が醸画となりました。

税金滞納を繰り返した神田源次前財務省大臣も辞任しましたが、「政治じカネ」問題で疑惑が深まっているのがかりです。反対なき政権は終わりやるいとお必要です。

田の提案を重んじたがためにも、一方で受け取りを断った議論もありました。一方で要領を認めた議論もござります。植沢赳氏は、「内閣選と同様に」「行われた区議選の「陣山真輝」など説明していますが、「一部の議論は」「議選で木村氏を応援してほしく」という趣旨を感じた」とお

る可能性があります。
2019年の参院選立候選団の
大規模買収事件では、河井克行
元法相・河井案里元参院議員の陣
営が地方議員ら100人に約200
00万円の現金を提供し、河井氏
側も地方議員の側も罪に問われ
ました。選舉とくつ結び主義の根
の違法華院にたどり類いもあれば
して、事情を聽いてこます。
昨年の臨時国会では、当時の非
田総務相の数々の疑惑の中で、
運動員買収疑惑が野党に追及され
ました。寺田氏は關僚辞任に追いつ
きましたが、またも柿沢氏で
連動買収の疑いが出てきたいと

にたずねる法律顧問に「適材適所」といって任命した岸田昌輔の認識と責任は重大です。